

すくも 市議会だより

第55号

■ 編集 議会だより編集委員会 ■ 発行 宿毛市議会

定例会の概要

第二回定例会は、平成二十二年六月十六日に開会し、十三日間の会期で六月二十八日に閉会しました。

市長から提出された議案は、「専決処分」三件、「人事案件」四件、「平成二十二年一般会計補正予算」など予算議案二件、「宿毛市職員定数条例の一部を改正する条例」など条例議案十件、その他の議案六件の合計二十五議案で、審議の結果、いずれも原案どおり可決されました。

市政に対する一般質問は、二十一日及び二十二日の二日間に六人の議員が、また、二十三日には議案に対する質疑が行われました。

皆さんから提出された陳情は「選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書の提出について」など六件が審議され、三件が採択、三件が不採択となりました。

また、最終日には、議員提案による「議案第八号に対する付帯決議」が提出され、原案のとおり可決されました。

議案の主な内容は、次のとおりです。

補正予算

◎一般会計（議案第八号）

今回の補正予算は、総額で一億四、二四万八、〇〇〇円が増額補正され、累計で一〇三億三七四万一、〇〇〇円となりました。

（歳出の主なもの）

○緑の分権改革調査事業検討業務委託料
……………三四五万円

○トリックアート展事業負担金
……………二五〇万円

○津波避難道整備工事費
……………二九四万円

○自立支援事業費補助金
……………三三八万円

六月定例会日程

6月16日（水）	本会議	開会、議案上程 提案理由の説明 議案等精査 議案等精査
17日（木）	休会	
18日（金）	休会	
19日（土）	休会	
20日（日）	休会	
21日（月）	本会議	一般質問
22日（火）	本会議	一般質問
23日（水）	本会議	議案質疑、委員会審査
24日（木）	休会	
25日（金）	休会	
26日（土）	休会	
27日（日）	休会	
28日（月）	本会議	委員長報告、質疑 討論、表決、閉会

○宿毛市産業振興推進総合支援事業費補助金（すくも湾漁協分）
……………六、一〇三万円

○同右（民間事業者分）
……………四、二一六万円

○宿毛市水産業総合支援事業費補助金（養殖事業分）
……………二五〇万円

○宿毛市地場産品等パッケージデザイン支援事業費補助金
……………一〇〇万円

○咸陽島公園付帯工事費
……………四四〇万円

○ミュージカル「ヘルパーズ」公演企画手数料
……………四七〇万円



条例

◎宿毛市職員定数条例の一部を改正する条例について

これまで選挙管理委員会事務局及び監査委員事務局の職員には、市長部局の職員でなければ兼任発令ができず、円滑な事務の遂行に支障が生じる場合がありますので、これを解消するため、部局を問わず、職員全体の中から兼任発令ができるようにすること及び選挙管理事務体勢充実に向け、選挙管理委員会事務局の兼任職員の定数を「二十二人」から「二十七人」に五人増員することに伴い、本条例の一部を改正しようとするものです。

◎宿毛市立運動場条例の一部を改正する条例について

土地開発公社から購入した高砂地区の「高砂グラウンド」を、体育の普及振興を図ることを目的に、社会体育施設として位置づけることに伴い、本条例の一部を改正しようとするものです。

◎宿毛市定期船条例の一部を改正する条例について

障害者福祉サービスの向上

を図るため、平成二十二年七月一日から、定期船の旅客運賃割引の対象に、新たに「精神障害者及び介護者」を加え、割引率を身体障害者及び知的障害者と同様の五割引とすることに伴い、本条例の一部を改正しようとするものです。

◎宿毛市生活改善センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

平成二十二年七月一日付で、橋上生活改善センターを橋上地区自治会に無償譲渡するため、条文から本施設に関する記述を削ることに伴い、本条例の一部を改正しようとするものです。

◎市道路線の認定について

宿毛駅東地区土地区画整理事業の基盤整備工事が完了したことに伴い、区域内の新設道路を「駅東一七号線」、「駅東一八号線」、「駅東一九号線」及び「駅東二〇号線」として、新たに市道認定することについて、道路法第八条第二項の規定により、議会の議決を求めるものです。

その他

▼ 人事案件 ▲

平成二十二年第二回定例会において、次の人事議案を全会一致をもって、同意しました。

○固定資産評価審査委員会の選任

松田安夫氏（再任）

○人権擁護委員候補者の推薦

松田雄三氏（再任）
示野孝雄氏（再任）
江口純子氏（再任）



提出された議案等

議案番号	件名	議決結果
第1号	専決処分した事件の承認について	承認
第3号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意
第4号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意
第5号	平成二十二年度宿毛市一般会計補正予算について	原案可決
第7号	平成二十二年度宿毛市へき地診療事業特別会計補正予算について	原案可決
第8号	宿毛市職員定数条例の一部を改正する条例について	原案可決
第9号	宿毛市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び宿毛市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
第10号	宿毛市税条例の一部を改正する条例について	原案可決
第11号	宿毛市立運動場条例の一部を改正する条例について	原案可決
第12号	宿毛市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	原案可決
第13号	宿毛市生活改善センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
第14号	宿毛市定期船事業条例の一部を改正する条例について	原案可決
第15号	企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
第16号	宿毛湾港港湾区域内の公有水面埋立てについて	原案可決
第17号	米富漁港区域内の公有水面埋立てについて	原案可決
第18号	市道路線の認定について	原案可決
第19号		
第20号		
第21号		
第22号		
第25号		

意見書

今定例会に議員より提出された次の意見書案を原案のとおり可決し、関係行政機関に提出しました。

◎子宮頸がんに関する意見書

女性特有のがんである子宮頸がんは、毎年約八、〇〇〇人の方が子宮頸がんと診断され、約二、五〇〇人が亡くなっている。

子宮頸がんには、他のがんがない特徴がある。一つは、発症年齢が低いということである。子宮頸がんの発症年齢層のピークは年々低年齢化しており、一九七八年ごろは五〇歳以降だったのに対し、一九八八年には三〇代になり、二〇代、三〇代の若い女性の子宮頸がんが増している。

もう一つは、子宮頸がんの原因のほとんどが、ヒトパピローマウイルス（HPV）の感染によるものということである。一生のうちに八割近くの女性がHPVに感染するものの、感染した女性がすべて発症するわけではなく、持続感染により子宮頸がんが発症

するといわれている。このHPV感染を予防するワクチンが

日本では二〇〇九年十月に承認され、同年十一月からワクチン接種が始まった。このワクチンは、子宮頸がん全体の約七割を予防できるとされており、子宮頸がんは「予防可能ながん」ということである。

しかし、予防のためには三回の接種が必要で、接種費用が合計四、五万円と高価なことが普及の妨げとなっている。

よって、国におかれては、子宮頸がんの予防・早期発見のための取り組みを推進するため、次の事項について早急に実現するよう強く要望する。

記

- 一 定期の予防接種を行えるよう、子宮頸がんを予防接種法による対象疾病に定めること。
- 二 若い女性に急増する子宮頸がんの早期発見のために、定

期的な検診など、検診受診率の向上を図ること。

◎選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書

◎永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書

◎子ども手当の廃止を求める意見書

◎中小学校の耐震化の推進を求める意見書

※本文は紙面の都合で割愛します。



議案番号	件名	議決結果
意見書案第1号	選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書の提出について	原案可決
第2号	永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書の提出について	原案可決
第3号	子ども手当の廃止を求める意見書の提出について	原案可決
第4号	中小学校の耐震化の推進を求める意見書の提出について	原案可決
第5号	子宮頸がんに関する意見書の提出について	原案可決
決議案第1号	議案第8号に対する付帯決議について	原案可決

▼ 陳 情 ▲

皆さんから提出された陳情は、所管の委員会に付託され、審査の結果、次のとおり決定しました。

番号	件名	議決結果
第30号	選択的夫婦別姓制度の法制化に反対する意見書の提出について	採択
第31号	永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書の提出について	採択
第32号	子ども手当の廃止を求める意見書の提出について	採択
第33号	人権侵害救済法の成立に反対する意見書の提出について	不採択
第34号	核持込み密約を破棄し非核三原則の遵守を求める意見書の提出について	不採択
第35号	子宮頸がんのワクチン予防接種の公費助成の廃止を求める意見書の提出について	不採択

一 般 質 問

六月定例会の一般質問は、二十一日、二十二日の二日間に六人の議員から市政全般について質問がありました。

主な内容は、次のとおりです。

松浦英夫 議員

鵜来島地区の離島振興対策について

(一) し尿処理対策について

問 し尿処理問題について、いづつごろを目処に、どのような取り組みをしようとしているのか問う。

答 軽四くらいの小型のバキユームカーを配置するとか、合併処理浄化槽を4〜5軒単位で設置するとか、いろいろな方法論を住民の方々に示し、意見をもらう中で、対応したい。時期については、はっきり言えないが、話し合いの結果により、計画を立て、すぐに取りかかるようにしなければならぬと考えている。

(二) 鵜来島離島センターの活用について

問 現在、島には宿泊施設がないので、観光客や入り込み客に対応するため、離島センターを宿泊施設として活用してはどうか。

答 以前、民間の事業者が宿泊交流施設として活用する計画があったが、実現にいたらなかった。宿泊施設として活用するためには、施設の改修や運営面の課題もあるが、今後、地元との協議と調整を行いながら検討したい。

(三) 医師の派遣について

問 平成十八年度までは、月二回の巡回診療があったが、平成十九年度より、幡多けんみん病院の医師の不足、医師の業務過重等の理由により、月一回の訪問回数となってい

る。医師の訪問回数を増やすために、高知県に対して強く働きかけをすべきではないか問う。

答 これまでも、知事、県議会に対し、幡多けんみん病院の医師の確保、鵜来島への巡回診療の継続を要望してきたが、県が本年度から取り組みとして「日本一の健康長寿県構想」の中でも、医師確保対策の推進があげられているので、今後とも、県に対して強く要望していきたい。



野々下昌文 議員

公共下水道事業計画について

問 供用を開始して八年になるが受益者加入率が五二％と聞く。今後の運用計画及び貝塚、片島、西町など未整備地域の推進計画を問う。

答 平成二十一年度決算ベースで、収益収支は七十八万三〇〇〇円の赤字であり、建設改良事業に伴う起債の元利償還金に一般会計から、一億七、〇三三万三、〇〇〇円が充てられている。収益収支の採算ラインは加入率が六三％、あと約二六〇戸の加入が必要で、黒字化までに二〜三年を見込んでいる。平成二十二年度から管渠整備事業を一時中断し、加入促進に重点を置き、下水道の経営健全化を図る。また、担当課による公民連携収入戦略等も調査研究させたい。未整備区域は住民ニーズにあわせて説明会を開き、浄化槽の設置整備事業等の整備方法を再検討していく。

深刻化する介護現場 について

問 老老介護の実態と包括支援センターの強化及び家族介護者の支援策、並びに「介護用品給付事業、介護慰労金支給事業」対象者の条件緩和はできないか問う。

答 平成二十一年度に介護保険の認定を受けられた一、三九三人中、一〇七世帯が六五歳以上の高齢者世帯である。

地域介護の支援策として本年三月末に立ち上げた高齢者虐待防止ネットワーク委員会に、民生児童委員協議会を初め老人クラブ連合会、地区長連合会、連合婦人会など関係団体にご協力いただき、地域の高齢者に対し、声かけ、あいさつ、様子見等を行う高齢者見守り地域連絡会を組織し地域包括センターとの連携を密にして介護予防事業へつなげていく。

慰労金支給事業の条件緩和については、緩和によって対象者数、経費がどのくらい見込まれるのか、保険料にも影響するのでそれらを加味した中で、検討していく。



岡崎利久 議員

災害時要援護者対策 について

問 要援護者名簿の収集方法と災害時要援護者台帳の完成目標時期について問う。

答 名簿の収集方法の一つは民生委員による戸別訪問を実施し制度を説明して登録申請をしてシステムに入力する方法をとっている。また、戸別訪問以外の方は、保健介護課、福祉事務所の窓口において登録申請をしていただいている。

完成時期については、今のところ八月を予定しているのですが、完成時には民生委員より登録者に見守りカードを配布する。

宿毛市次世代育成支援 実行動計画について

問 後期計画について、宿毛市として、特に力を注がなければならぬ支援策があれば問う。

答 子育て家庭に対する経済的負担の軽減をするために、今年四月からは、多子世帯の保育料の軽減、十月からは、乳幼児医療の助成対象範囲を小学校から中学校卒業まで引き上げる。宿毛市の子育て支援のさらなる充実を図るために、国、県への働きかけについても積極的に実施していきたいと考えている。

中平富宏 議員

咸陽島公園魅力回復 事業について

問 すでに四、〇〇〇万円を使い砂場とトイレを整備している。今議会の付帯工事費四四〇万三、〇〇〇円以外に予算をいくら投入して、どのような咸陽島公園にしたいのか。

答 今年は砂場のフェンス、進入路の舗装、排水溝の整備等を行い、今後二カ年で芝張り、樹木の間伐、周辺排水路の整備等を約一、五〇〇万円で計画している。整備することで魅力ある公園に回復させ、市民や観光客の憩いの場にしていきたい。

太公望気まま自然 体験事業について

問 当初事業費に六五〇万円が計上されていたが、どのように使ったのか。また、今議会に計上されている工事費八〇万円の内容と今後の事業計画について問う。

すくも84マリン ターミナルについて

問 六、五〇〇万円かけて建てた上に、今後管理費もかさんでくると思われるが、費用対効果についてどのように考えているか。また、一般的な倉庫ではなく、立派な建物にした理由を問う。

答 整備効果としては、旅客船で訪れる観光客による経済効果、直売会などの地場産業振興、倉庫として機能した場合の使用料収入、物流効率化の効果がある見込みである。今後は定数的な把握に努めたい。木のぬくもりを感じさせる当施設は、地元産の木材を使用しPRも兼ね、林業の

活性化にも役立つたのではないか。



中川 貢 議員

保育園、小中学校の統廃合計画と耐震対策は

問 非耐震のまま、統廃合計画による建て替えを待たなければならぬ保育園や小中学校が出てくる。いつやってくるかわからない南海・東南海地震を想定した場合、こうした施設についても速やかに

耐震補強工事が必要だと考えるが、市長、教育長の考えを聞く。

答 保育園の統廃合の基本方針は一小学校に一保育園だが、画一的に何が何でもとは考えていない。小中学校の再編計画との整合性を図りつつ、保護者並びに地域の皆様のご意見を十分に聞いて保育園の統廃合を進めたい。老朽化した保育園もあり、最低限の耐震対策も必要と考えている。学校の耐震化については早急に耐震化を図り、子どもたちが安心できるように取り組まなければならないと考えている。咸陽小学校、小筑紫小学校、大島小学校、橋上中学校、宿毛中学校別棟以外はすべて耐震化が必要だが、財政的に厳しく、一時期にすべての学校施設の耐震化や改築は困難だ。一〇年間そのまま我慢せよという安易な気持ちはない。市長部局へできるだけ時間がからないようにお願いしていくが、小中学校再編計画の統廃合改築にあわせて耐震工事を行う。

小中学校用務員制度の導入を



問 教育環境を充実するための方策として、学校用務員制度を導入し、教職員が本来の仕事に時間を使うことができ、職場環境にするべきではないか。教育委員会の方針を聞く。

答 学校で用務員さんが果たす役割については、十分承知しており必要と考えている。用務員も一人いるほうが望ましいことはわかっているのですが、いろいろな方法について可能な限り財務当局と話しながら進めていく。

浅木 敏 議員

市民の要望に応える行政について

問 政治への不信と不満が広がっている今日、日本共産党の宿毛市委員会は春、暮らしのアンケート調査を実施した。宿毛市民四分の一世帯にアンケート用紙を届け、約二〇〇世帯から回答をもらった。多くの人が暮らしの悪化や生活の困難を訴え、現市政への批判も多く、市民の意見や要望を反映した市政を求めている。市も全世帯対象のアンケート調査を実施し、市政に反映させる考えはないか。

答 共産党が実施したアンケート結果は市民の声として謙虚に受け止めたい。市は議会はじめ市政懇談会、ホームページや意見箱などで市民の意見を聞いている。私自身がひとりよがりでは何かしていると言うことはほとんどない。今後の市民へのアンケート調査は事業の計画や実施の場合、必要に応じた形でやっていきたい。

生活保護行政について

問 いま全国で生活困窮者が増え続け、生活保護基準以下の収入でも生活保護を受けていない世帯が約一〇〇万世帯あると言う。宿毛地域の生活保護基準額は二万五千円の家賃を含め夫婦と小中学生の四人世帯で約一九万九千円、老夫婦の世帯で約十一万八千円である。賃金や年金による収入がこの基準以下の世帯はその差額分を生活保護申請できる。このように生活保護行政の具体的内容を市民に周知し、生活困窮者を積極的に生活保護制度で救済すべきではないか。

答 この制度の周知については市のホームページや希望者には「ご存知ですか生活保護」という冊子を渡している。もちろん窓口でも説明している。市民の皆さんの最後のセーフティネットとしての生活保護制度であり、困った時には市役所の窓口に来ていただき制度を十分に理解し、使っていただきたい。



決 議

今定例会に提案された議案第八号「平成二十二年度宿毛市一般会計補正予算」に対して、議員より、付帯決議案が提出され、全会一致をもって原案のとおり可決されました。

◎議案第八号に対する付帯決議

一 本議案中、第七款商工費、第一項商工費、五日観光費、十五節工事請負費の「咸陽島公園付帯工事費」並びに「太公望気まま自然体験事業工事費」については、事業の全体の整備計画、総事業費並びに今後の運営コスト等、当該事業に関する詳細な計画を早急に提示すること。
以上、決議する。



表 彰

四国市議会議長会及び全国市議会議長会より、次の方々に対して表彰状が授与されました。

全国市議会議長会

〔一般表彰〕

★議員十五年以上

濱 田 陸 紀 議員



四国市議会議長会

〔特別表彰〕

★議員三十二年以上

岡 崎 求 議員



★会議録の 閲覧を★

市議会だよりは紙面の都合で発言の一部しか掲載していません。

詳しくは「会議録」をご覧ください。

六月定例会の会議録は九月上旬にできる予定です。

市立坂本図書館及び各支所でご覧になれます。ご利用ください。

議会開会中は宿毛市のホームページとスマートフォンで映像中継しています。

なお、ホームページでは過去の議会映像も配信しています。



編集後記

本格的に暑い夏がやってまいりました。海や川にと、レジャーシーズンであります。

六月議会では、六名の議員が離島振興や教育、福祉の問題をはじめ宿毛市の振興策等多岐にわたる質問や提案をいたしました。

いずれも市民生活を向上させたいとの観点からの質問であり、活発に執行部と議論がなされました。

現在、宿毛市議会に「議会改革調査特別委員会」を設置して、「議会機能の強化策」や「開かれた議会づくり」等議会改革に向けて熱心に議論を行っております。

今後も、行政の監視役としての責務を果たす為に、全議員一丸となって取組んでまいります。



編集委員

- 松 浦 英 夫
- 今 城 誠 司
- 野 々 下 昌 文
- 宮 本 有 二
- 濱 田 陸 紀